

第8回 富山県地域年金事業運営調整会議

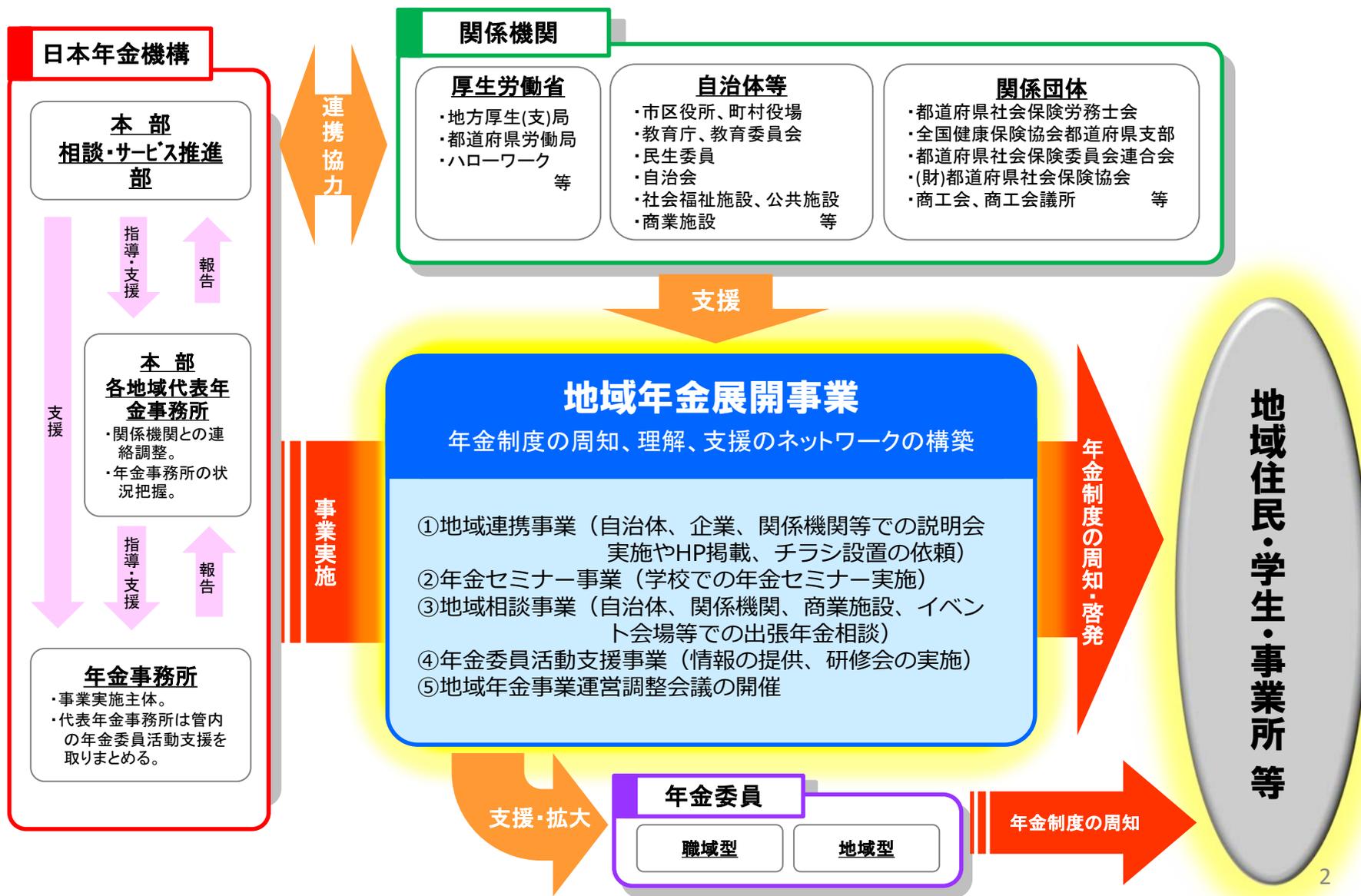
令和元年度「地域年金展開事業」の取組実績

令和2年2月
富山年金事務所

目 次

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 地域年金展開事業の概要 | P 2 |
| 2. 令和元年度事業計画 | P 4 |
| 3. 令和元年度事業実施結果（平成31年4月～令和2年1月） | P 6 |
| 4. これまでの課題対応状況 | P 27 |

1. 地域年金展開事業の概要(1/2)



1. 地域年金展開事業の概要(2/2)

地域年金展開事業の主な取組

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業

職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金セミナー事業

職員が、大学や短大、専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

地域年金推進員委嘱事業

教育委員会等に対し協力依頼を行い、教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱する。

地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和元年度事業計画(1/2)

1. 各事業への取組内容と具体的な活動

事業名	取組み内容	具体的な活動
<p style="text-align: center;">地域連携事業</p>	<p><本部ガイドライン重点取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市区町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体と連携し、「産前産後期間の国民年金保険料の免除」や「年金生活者支援給付金」等の制度改正等に関する周知・啓発活動を積極的に実施する。 ・地域型、職域型それぞれの年金委員と連携し、制度改正のチラシ、ポスター等の配布のほか、自治会や事業所等を対象とした年金制度説明会を積極的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①市町村・ハローワーク・関係団体等との連携による周知・啓発 各市町村等へ協力を要請し、チラシ・ポスター等による周知、制度説明を実施する。 ②年金委員を活用しての周知・啓発 地域型・職域型年金委員に協力を依頼し、自治会、町内会・事業所にてチラシ配付および説明周知。 ③市町村担当者向け情報紙「かけはし」を自治体等へ配布 ④事業所に対する制度説明会の実施 職域型年金委員に、退職間近者および新入社員向け年金制度説明会開催の協力依頼をする。
<p style="text-align: center;">地域相談事業</p>	<p><本部ガイドライン重点取組></p> <p>地域連携事業(年金制度説明会)と併せて、各所において市町村、自治会、大学、事業所、ハローワーク、ジョブカフェ、商業施設等において出張年金相談を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①市町村等における出張年金相談 管内各市町村や商業施設に出張年金相談開催への協力を依頼し、相談会を実施する。 ②大学等構内における出張年金相談 大学等を対象とし、学特申請に関する出張年金相談の開催への協力を依頼し、相談会を実施する。 ③ハローワーク雇用保険受給者説明会等での出張年金相談 管内各ハローワークにて、出張年金相談開催への協力を依頼し、相談会を実施する。

2. 令和元年度事業計画(2/2)

1. 各事業への取組内容と具体的な活動

事業名	取組み内容	具体的な活動
年金セミナー事業	<p><本部ガイドライン重点取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・生徒を対象とした年金セミナーの更なる拡充を図るとともに、保護者や教職員を対象とした年金セミナーを積極的に実施する。 ・年金セミナーの実施にあたっては、地域年金推進員を積極的に活用するとともに、効果的なアプローチと併せ、受講者の年齢に近い若手職員による講師対応により、機構職員の養成機会として、人材育成面にも配慮した取組を行う。 	<p>①大学、短大、専門学校等における年金セミナーの実施および「わたしと年金」エッセイ募集に関する周知活動</p> <p><アプローチ実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域年金推進員を積極的に活用する。 ・官公庁(財務支局、労働局、国税局、社会保険労務士会)が実施する他のセミナーとのタイアップによる実施方法を積極的に検討する。 ・PTAや教職員を年金セミナーの対象として拡充に努める。
年金委員活動支援事業	<p><本部ガイドライン重点取組></p> <p>年金委員活動の活性化とその委嘱拡大を最重要課題と位置づけ、定期連絡会や年金委員研修等による情報発信の充実を図り、年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行うとともに、関係団体への働きかけを強化し、その委嘱拡大に努める。</p>	<p>①地域型年金委員連絡会の開催 県内の各年金事務所において、四半期に1回以上、地域型年金委員と年金事務所間の情報共有、活動依頼、支援事項の伝達および地域年金委員相互間の情報共有を図ることを目的とした地域型年金委員連絡会を定期に開催する。</p> <p>②年金委員研修の実施</p> <p>③機構ホームページ(『年金委員通信』)を活用した情報提供</p> <p>④令和3年度末時点における全体の最終委嘱目標人数を、機構発足当初の職域型年金委員数および地域型年金委員数とし、計画的な委嘱数の拡大を目指す。</p>
地域年金推進員委嘱事業	<p><本部ガイドライン重点取組></p> <p>地域年金推進員の委嘱拡大および、年金セミナーの開催数増加につなげる。</p>	<p>①教育委員会等への協力要請による委嘱拡大 県内の教育委員会等に訪問の上、年金推進員の委嘱にかかる協力を要請する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金推進員と定期的に面談を行い、活動状況の把握および意見交換を行い、年金セミナー開催へのアプローチ活動の向上につなげる。

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域連携事業	① 市町村・ハローワーク・関係団体等との連携による周知・啓発 ○市町村職員担当者向け研修他連携事業 (前年度: 7回 70名)					<p>市町村・ハローワーク他、これまで連携を図ってきた機関等とは、順調に連携は続いている。</p> <p>ハローワークに関しては、雇用保険説明会等において、離職者へ国民年金保険料免除の手続き等に関する説明を行っているが、砺波では、年金事務所の説明時間確保が厳しいということから、未だ実施に至っていない状況。ハローワークのみではなく、労働局等への協力依頼を継続して実施する。</p> <p>昨年度は高岡事務所においては、ハローワーク職員に対する説明会を実施したが、今年度はいずれの事務所においても実施できていない。離職者へのタイムリーな国民年金に関する届出勧奨のためにも、ハローワークとの連携や体制作りの検討が必要。</p>
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	参加人数	
	富山	富山市役所	担当者への制度説明会	2回	25名	
	富山	県内市町村役場	担当者への制度説明会	1回	17名	
	富山	富山市役所本所および全地区センター	成人式でのねんきんネットチラシ配布および地区センターでの予約相談ポスター・チラシ設置	53か所		
	高岡	管内市町村役場	新任担当者への制度説明会	1回	6名	
	魚津	管内市町村役場	新任担当者への制度説明会	1回	9名	
	魚津	県内市役所	担当者への制度説明会	1回	14名	
	砺波	管内市町村役場	担当者への制度説明会	2回	23名	
	○ ハローワークにおける年金制度説明					
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	参加人数	
	富山	ハローワーク富山	雇用保険説明会での制度説明	40回	1, 241名	
高岡	ハローワーク高岡	雇用保険説明会での制度説明	32回	2, 036名		
高岡	ハローワーク氷見	雇用保険説明会での制度説明	22回	377名		
魚津	ハローワーク魚津	雇用保険説明会での制度説明	41回	282名		

3. 令和元年度の取組結果(2/21)

平成31年4月～令和2年1月

令和2年2月26日
富山年金事務所

事業名	実施した事項				実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点		
地域連携事業	<p>○ その他関係団体等との連携 (前年度: 9回 708名)</p>				<p>④退職間近者を対象とした年金シニアライフセミナーを例年より1会場増やし実施した。 年金制度説明と「生きがいとライフプラン」についての二部構成で実施し、アンケート結果では、おおむね参考になったとの回答が多数を占め、非常に好評であった。 次年度以降についても、継続して取り組んでいく。</p>		
	事務所	企業・団体等	内容			実施回数	参加人数
	富山	社会保険労務士会	富山県社労士会主催会員研修会にて制度説明(県内各支部会員)			1回	78名
			富山支部総会での制度周知依頼			1回	62名
		富山県社会保険協会	富山支部評議委員会等での制度周知依頼			2回	81人
		富山県年金受給者協会	協会事業内での制度周知			2回	334名
		全国社会保険委員会連合会	富山県民会館	年金シニアライフセミナーにて年金制度説明および事業所での予約相談周知依頼		1回	39名
	高岡商工会議所		年金シニアライフセミナーにて年金制度説明および事業所での予約相談周知依頼			1回	54名
	魚津	社会保険労務士会	富山県社労士会主催会員研修会にて制度説明(富山・魚津支部会員)			1回	75名
	砺波	社会保険労務士会	富山県社労士会主催会員研修会にて制度説明(砺波支部会員)			3回	60名
富山県社労士会主催会員研修会にて制度説明(高岡支部会員)			1回	35名			

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域連携事業	② 年金委員を活用しての周知・啓発					
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	対象等人数	
	富山	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	13回	418名	
		地域型年金委員	年金委員による広報実施	1回	70世帯	
			年金委員による制度説明会実施	7回	110名	
	高岡	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	8回	241名	
	魚津	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	8回	210名	
	砺波	職域型年金委員	各種事業にて制度周知依頼	7回	165名	
	<p>③ 市町村担当者向け情報紙「かけはし」を自治体等へ配布</p> <p>各年金事務所より年金制度関連事務に関する情報誌「かけはし」を管内市町村へ送付することにより制度改正等の情報提供を行っています。</p> <p>機構本部各部から国民年金保険料や年金給付に関する手続きも含め、記載方法等も詳細に掲載されており、各地域で必要な内容を掲載するページもあり、できるだけ市町村担当者向けにわかり易い内容となるよう工夫して情報発信に努めております。</p> <p>(5、7、9、11、1、3月隔月発行)</p>					

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域連携事業	④ 事業所に対する制度説明会の実施 (前年度: 38回 1,790名)					<p>新規適用事業所等の新任担当者向け説明会や算定基礎届説明会は、継続して実施しているが、いずれの説明会においても参加人数は減少してきている。</p> <p>特に顕著なものは算定基礎届当事務説明会である。昨年に比べ参加人数は40%減少してしまった。お知らせの方法が今年度より変更となったため、お知らせを見逃してしまったことが大きな原因と考えられる。周知方法の検討を要する。</p> <p>企業訪問による新入社員向け制度説明会を実施できている事務所は昨年と同じく1事務所に留まっている。</p> <p>職域型年金委員の方々の協力無くして実施できない事業であるため、委員研修等での協力要請が必要である。課題としては、講師の確保となる。</p>
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	参加人数	
	富山	管内適用事業所	新規適用事業所担当者および新任担当者への制度説明会	10回	122名	
		管内適用事業所	算定基礎届等事務説明会	3回	202名	
	高岡	管内適用事業所	新規適用事業所担当者および新任担当者への制度説明会	10回	73名	
		管内適用事業所	算定基礎届等事務説明会	2回	164名	
	魚津	管内適用事業所	新規適用事業所担当者および新任担当者への制度説明会	5回	36名	
		管内適用事業所	算定基礎届等事務説明会	2回	63名	
		管内企業(単独)	新入社員向け制度説明会	1回	10名	
	砺波	管内適用事業所	新規適用事業所担当者および新任担当者への制度説明会	3回	30名	
管内適用事業所		算定基礎届等事務説明会	1回	443名		

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域相談事業	① 市町村等における出張年金相談 ○ 市町村連携による相談会(1/2) 遠方で年金事務所等へお越しいただくことが困難なお客様のために、社会保険労務士会の協力を得ながら県内各所で出張年金相談を開催しています。					昨年同期1,239名、今年1,110名と、年々相談者数は減っている状況にあるが、未だ多数の方からの相談があることから、継続した開催は必要。 平成30年1月に新潟県の佐渡市においてモデル実施されたテレビ電話による年金相談窓口の開設など、今後は遠隔地においての相談が可能となるよう、現地に赴く時間などのコスト削減を図りつつ、更なる利便性の向上も図っていく必要があるが、情報セキュリティを考慮した設備を要するため、現段階では設置費用が膨大となることから、今後の検討課題となっている。
	事務所	開催地	開催場所	実施回数	参加人数	
	富山	富山市	大沢野行政サービスセンター	10回	106名	
			大山地域市民センター	4回	11名	
			八尾健康福祉総合センター	10回	78名	
			婦中行政サービスセンター	10回	93名	
	高岡	氷見市	氷見市役所	10回	112名	
			氷見商工会議所	10回	58名	
		射水市	射水市役所	10回	37名	
	魚津	朝日町	朝日町役場	10回	87名	
		入善町	入善町役場	10回	106名	
		上市町	働く婦人の家	10回	112名	
		立山町	立山町民会館	10回	61名	
滑川市		滑川市役所	10回	60名		

事業名	実施した事項					実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
地域相談事業	○ 市町村連携による相談会(2/2)					<p>「③ハローワーク雇用保険受給者説明会等での出張年金相談」について、現在、説明会は実施できているが、その会場での出張相談までは依然として実施できていない。</p> <p>富山年金事務所では、ハローワークが近いことから、説明会終了後の来所を促してはいるが、ハローワーク内で出張相談を実施する場合、場所や時間の関係で、最低2名の出張を要するため、ハローワーク側との調整と事務所内部での体制作りが課題。</p>
	事務所	開催地	開催場所	実施回数	参加人数	
	砺波	小矢部市	小矢部市役所	10回	23名	
		南砺市	城端行政センター	10回	71名	
			福光行政センター	10回	95名	
	○ その他機関との連携による相談会					
	事務所	企業・団体等	内容	実施回数	参加人数	
	富山	富山行政監視行政相談センター	一日合同行政相談会	1回	2名	
	高岡	富山行政監視行政相談センター	一日合同行政相談会	1回	3名	
	魚津	富山行政監視行政相談センター	一日合同行政相談会	1回	3名	
○ 年金事務所における国民年金保険料納付相談会						
事務所	開催日		実施回数	参加人数		
魚津	令和元年11月30日		1回	0名		
砺波	令和元年11月30日		1回	0名		

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点											
地域相談事業	<p>② 大学等構内における出張年金相談 大学構内にて、学生のパンフレット配布と学生向け相談コーナー(学生納付特例申請書の受付窓口)を開設しました。</p>	<p>昨年度において、取組強化の意見があったが、拡大には至っていない。 構内での相談窓口設置については、大学構内の掲示板への掲示により周知いただいているが、参加人数の増加を図れていない状況であり、事前周知方法についてHPへの掲載等アプローチの方法について、学校への協力依頼等調整が必要。</p> <p>大学構内での出張相談の実施に向けた各大学への協力依頼とともに、学生納付特例事務法人の申請をいただいている各大学への学生納付特例申請の代行事務の更なる協力依頼と未申請の大学等への学生納付特例事務法人の申請依頼を実施する必要がある。</p>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="311 415 432 462">事務所</th> <th data-bbox="432 415 722 462">開催日</th> <th data-bbox="722 415 1224 462">開催場所</th> <th data-bbox="1224 415 1373 462">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="311 462 432 524" rowspan="2">高岡</td> <td data-bbox="432 462 722 524">令和元年11月26日</td> <td data-bbox="722 462 1224 524">富山県立大学</td> <td data-bbox="1224 462 1373 524">8名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 524 722 582">令和元年11月28日</td> <td data-bbox="722 524 1224 582">高岡法科大学</td> <td data-bbox="1224 524 1373 582">1名</td> </tr> </tbody> </table>		事務所	開催日	開催場所	参加人数	高岡	令和元年11月26日	富山県立大学	8名	令和元年11月28日	高岡法科大学	1名
	事務所		開催日	開催場所	参加人数								
高岡	令和元年11月26日	富山県立大学	8名										
	令和元年11月28日	高岡法科大学	1名										

事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー 事業	① 大学、短大、専門学校等における年金セミナーの実施および「わたしと年金」エッセイ募集に関する周知活動 ○ 年金セミナー・エッセイアプローチ状況(1/3)						<p>各所とも、概ね文書によるアプローチは実施できているものの、電話や特に訪問でのアプローチが進んでいない。</p> <p>新規実施校の開拓はほとんど進まず、ほぼ、実施校は決まっている状況。</p> <p>また、担当教師の異動等で開催できなかったケースや、逆に実施に前向きとなったケースもあることから、担当教諭の引継ぎについても依頼が必要なこと。</p> <p>高校では、進学校はほぼ実施ができない現状。</p> <p>次年度は、広く浅いアプローチではなく、大学や専門学校等ターゲットを絞ったアプローチにより、新規実施校を見つけ、継続につなげることも必要。また、カリキュラムの決定前の依頼が肝要。</p>
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数 (のべ)	
		富山県教育委員会	1	訪問にて依頼	1	1回	
		富山市教育委員会	1	訪問にて依頼	1	1回	
		富山県高等学校校長会	1	訪問にて依頼	1	1回	
		富山県中学校校長会	1	訪問にて依頼	1	1回	
	富山	大学・短大	3校	文書にて依頼	3校	3回	
				電話にて依頼	2校	6回	
				訪問にて依頼	1校	1回	
	専門学校	16校		文書にて依頼	5校	5回	
				電話にて依頼	6校	10回	
	高等学校	21校		文書にて依頼	21校	21回	
				電話にて依頼	5校	14回	
中学校	28校		文書にて依頼	28校	28回		
外国人に対する日本語教育支援団体	2		文書にて依頼	1	1回		

事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点													
年金セミナー 事業	○ 年金セミナー・エッセイアプローチ状況(2/3)																			
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数 (のべ)														
	高岡	大学・短大	3校	文書にて依頼	3校	3回														
		専門学校	4校	文書にて依頼	4校	4回														
				電話にて依頼	2校	2回														
		支援学校	2校	—	—	—														
		高等学校	15校	文書にて依頼	15校	15回														
				電話にて依頼	2校	2回														
	中学校	23校	文書にて依頼	23校	23回															
	魚津	大学校	1校	文書にて依頼	1校										2回					
		専門学校	2校	文書にて依頼	2校										4回					
				電話にて依頼	1校										1回					
		支援学校	1校	—	—										—					
		高等学校	10校	文書にて依頼	10校										20回					
				電話にて依頼	7校										15回					
	中学校	14校	文書にて依頼	14校	14回															

事業名	実施した事項						実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
年金セミナー事業	○ 年金セミナー・エッセイアプローチ状況(3/3)						富山大学では、先生のご協力により、国際関係論の講義の一環として、年金セミナーを実施させていただいた。昨年を引き続き、事前に学生からの疑問点や自分なりの年金に対する印象等を提供していただき、それらに対して、できるだけ回答を盛り込む形で前半は講義を行い、後半は、「年金は破綻する。」という報道について、できるだけ学生の不安を払しょくできるようデータ等によるエビデンスにより説明させていただくという形で実施。
	事務所	対象	対象数	取組内容	実施対象数	実施回数(のべ)	
	砺波	支援学校	1校	—	—	—	
		高等学校	8校	文書にて依頼	6校	6回	
				訪問にて依頼	6校	6回	
	中学校	16校	—	—	—		
	○ 年金セミナー実施(1/2)						
	事務所	対象	学校数	実施回数	受講者数	予定等	
	富山	大学・短大	1校	1回	34名		
		専門学校				3月実施1校	
高等学校		2校	4回	459名	2月実施2校		
高岡	専門学校	2校	2回	146名			
	高等学校	2校	2回	167名			

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																																																
年金セミナー事業	<p>○ 年金セミナー実施(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="311 339 1373 654"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>対象</th> <th>学校数</th> <th>実施回数</th> <th>受講者数</th> <th>予定等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">魚津</td> <td>大学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2月実施1校</td> </tr> <tr> <td>専門学校</td> <td>1校</td> <td>1回</td> <td>30名</td> <td>2月実施1校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>2校</td> <td>2回</td> <td>81名</td> <td>2月実施2校</td> </tr> <tr> <td>砺波</td> <td>高等学校</td> <td>3校</td> <td>4回</td> <td>242名</td> <td>2月実施3校</td> </tr> </tbody> </table> <p>(前年度)</p> <table border="1" data-bbox="311 675 1103 846"> <tbody> <tr> <td>大学・短大</td> <td>1校</td> <td>2回</td> <td>109名</td> </tr> <tr> <td>専門学校</td> <td>2校</td> <td>2回</td> <td>104名</td> </tr> <tr> <td>支援学校</td> <td>1校</td> <td>1回</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>11校</td> <td>16回</td> <td>863名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>2校</td> <td>2回</td> <td>100名</td> </tr> </tbody> </table>	事務所	対象	学校数	実施回数	受講者数	予定等	魚津	大学校				2月実施1校	専門学校	1校	1回	30名	2月実施1校	高等学校	2校	2回	81名	2月実施2校	砺波	高等学校	3校	4回	242名	2月実施3校	大学・短大	1校	2回	109名	専門学校	2校	2回	104名	支援学校	1校	1回	29名	高等学校	11校	16回	863名	中学校	2校	2回	100名	<p>アンケート結果からすると、一定の誤解や不安の解消にはなったと思われる。また、もっと詳しい説明が聴きたいといった項目もあり、次回開催の参考にしたい。</p> <p>このセミナー実施に当たっては、講師職員も勉強や打合せを繰り返し、講師となった若手職員からも、自身の知識向上により、今後の業務に生かせる感想が出ており、次年度に繋がる取組となる貴重な経験となった。</p>
	事務所	対象	学校数	実施回数	受講者数	予定等																																												
魚津	大学校				2月実施1校																																													
	専門学校	1校	1回	30名	2月実施1校																																													
	高等学校	2校	2回	81名	2月実施2校																																													
砺波	高等学校	3校	4回	242名	2月実施3校																																													
大学・短大	1校	2回	109名																																															
専門学校	2校	2回	104名																																															
支援学校	1校	1回	29名																																															
高等学校	11校	16回	863名																																															
中学校	2校	2回	100名																																															
																																																		

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																								
年金セミナー事業	<p>○「わたしと年金」エッセイ募集</p> <p>日本年金機構では、今年度も自身やご家族などの身近な方と、公的年金制度との関わりや考えなどをテーマに、「わたしと年金」エッセイの募集を令和元年6月3日～9月13日の間で行い、全国1,290件の応募の中から、受賞者が決定しました。</p> <p>【全国の応募状況】</p> <table border="1" data-bbox="340 549 1280 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般</th> <th>学生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>91</td> <td>803</td> <td>894</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>119</td> <td>1,035</td> <td>1,154</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>104</td> <td>1,186</td> <td>1,290</td> </tr> </tbody> </table> <p>受賞者の皆さん</p> 		一般	学生	計	平成29年度	91	803	894	平成30年度	119	1,035	1,154	令和元年度	104	1,186	1,290	<p>富山県のエッセイ応募状況</p> <table border="1" data-bbox="1441 401 1763 682"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応募者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>2名(一般)</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>1名(一般)</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>各教育委員会と校長会に訪問にて、夏休みの課題等にエッセイを入れていただくよう依頼し、各校には文書での依頼は行ったが、結果として応募は無かった。</p> <p>中部地域管内の応募数の多い県に聞いたところ、特定の学校が必須の宿題としてくれているとのことであった。</p> <p>エッセイについても対象を絞った依頼が必要と思われる。</p>	年度	応募者数	29年度	2名(一般)	30年度	1名(一般)	元年度	0名
	一般	学生	計																							
平成29年度	91	803	894																							
平成30年度	119	1,035	1,154																							
令和元年度	104	1,186	1,290																							
年度	応募者数																									
29年度	2名(一般)																									
30年度	1名(一般)																									
元年度	0名																									

事業名	実施した事項
年金セミナー 事業	<div style="border: 2px solid #00a0c0; padding: 10px; text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">「わたしと年金」エッセイ</h2> <p style="margin: 0;">(令和元年度 受賞作品紹介)</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">厚生労働大臣賞 岐阜県 平澤 芽依様(高校生 女性)</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">平成25年8月、父が亡くなって一ヶ月程経ったこの時期から、私は年金を受給しています。「遺族厚生年金」です。私が学校で年金のお話をきいてきた日の祖父との会話の中で知った事実でした。小学四年生の夏休み、海水浴をしている最中、父は事故で亡くなりました。父の稼ぎと祖父の貯金とで新しい家を建て、あと半年で兄も小学校卒業、という矢先の事故でした。その出来事によって、一日にして弱冠十一歳の私は年金受給者となったのです。家族の大黒柱が突然いなくなり、収入は激減、今まで以上の節約を強いられるかもしれないということは、幼かった私でも容易に想像できました。しかし母は、家計が苦しいことなど、一切私たちには話さなかったのです。父親がいないということで私たちに気をつかわせなくなかったのでしょうか。表では気丈に振る舞っていても、パート勤務で年収280万円ほどの母にとって、私たち子ども2人と祖父母を養わないといけないうことでどれほどの心労があったのか…。高校生になった今の私でも分かりかねるほどです。</p> <p style="margin: 10px 0 0 0;">中学2年生になったある日、大学進学をしたいと言った私のために、塾に通わせてもらいました。当然、その道に進むということはお金がかかることだと分かっていました。だから、この夢を諦めて就職した方が家計のためになるのではないかとか、自分がこんなこと言いたら迷惑じゃないかとか、たくさんの葛藤がありました。私たちをこんなにも助けてくれる遺族厚生年金がもしもらえなかったら？私は夢を追うことはできるのか？考える程に、決して怠ることなく保険料を納め続けてくれた父への感謝の気持ちがあふれてくるのです。それと同時に、ノートがあり、ペンがあり、教科書がある環境下で勉強ができることが、「当たり前」ではないと、身の引き締まる思いです。</p> </div>

事業名	実施した事項
年金セミナー 事業	<p>父が亡くなってから丸6年が経とうとしている令和元年の春、私は県内の私立高校に入学しました。学費のことを心配している私に対し、母が、 「あなたの将来への投資だと思ってるから。芽依が頑張るなら応援するよ。」 そう言葉をかけてくれたのを今でも覚えています。これも、遺族年金によって少し生まれた心の余裕と、常に私たちの意志を尊重してくれる母だから生まれた言葉だと思いました。こんな背景があるから、いろいろな人の思いを背負っているから、私は国公立大学合格という目標を掲げ、夢を追っているのだと実感しています。私の夢への挑戦を支えてくれている遺族年金の支給も、成人までだと知りました。いつまでも「助けてもらう側」ではられません。</p> <p>今まで以上に努力し、社会の一員として貢献し、自立することが、一番の恩返しになるのではないだろうか。私はそう考えています。年金は老若男女問わずお互い様だと言い合える助け合いの制度だからです。そして私の母のように、いつかできる家族を守る大人になりたいです。6年以上、人よりも早く年金に助けられている私はなおさらだと思います。成人しておらず、まだ保険料を納付できない私ですが、その年齢に達した時、私と同じような境遇になってしまい、折角もった夢を手放そうとしている子どもたちを支える準備をしている、そんな意識に変わりました。</p> <p>私のように不幸にあった子どもでも、他の子と同じように夢を追っていいんだよ、そんな風に背中を押してくれる、そして家族に心の余裕を与えてくれる、それが遺族年金だと思っています。少子高齢化が進む中での若者たちの負担は重くなるばかりです。しかし、自分たちが生まれた国を、日本という国にいる以上、平等に課せられる義務を果たしてこそ、一人の大人としての自立になると思います。今これを読んでいるあなたにも、いつ何がおこるかわかりません。まずは「知る」ことから始めてみませんか。自分自身と、大切な人の笑顔をまもるために。</p>

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点										
年金委員活動 支援事業	<p>① 地域型年金委員連絡会の開催(制度説明会、資料配布含む)</p> <p>○ 地域型年金委員連絡会</p>	<p>ガイドラインでは、連絡会を四半期に1回以上の開催とあるが、前年度の当初に「必要な時は郵送で依頼してもらえば地区で広報する。」との委員からご意見があったことから、郵送での情報提供や周知依頼となっている状況。</p> <p>今年度の委嘱更新時も、高齢を理由に辞退される方も増えており、次年度においても、集合しての定期的開催については、委員と機構側双方の費用対効果を考慮すると厳しいものと思われる。</p> <p>今年度より、情報提供の機会を増やすため、「かけはし」の抜粋版を作成し、年金委員だよりと同時に送付を実施している。</p>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富山</td> <td>令和元年12月24日</td> <td>事務所会議室</td> <td>地域での広報等活動への具体的協力内容と事務所からの情報提供方法等</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		事務所	開催日	開催場所	内容	参加人数	富山	令和元年12月24日	事務所会議室	地域での広報等活動への具体的協力内容と事務所からの情報提供方法等	10名
	事務所		開催日	開催場所	内容	参加人数						
	富山		令和元年12月24日	事務所会議室	地域での広報等活動への具体的協力内容と事務所からの情報提供方法等	10名						
	<p>○ 地域型年金委員への研修会 (前年度: 4回 38名)</p>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>開催日</th> <th>開催場所</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富山</td> <td>令和元年12月24日</td> <td>事務所会議室</td> <td>年金制度説明</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		事務所	開催日	開催場所	内容	参加人数	富山	令和元年12月24日	事務所会議室	年金制度説明	10名
事務所	開催日	開催場所	内容	参加人数								
富山	令和元年12月24日	事務所会議室	年金制度説明	10名								
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高岡</td> <td>令和元年8月7日</td> <td>文化ホール</td> <td>年金制度説明</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>令和元年11月25日</td> <td>文化ホール</td> <td>年金制度説明</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	高岡	令和元年8月7日	文化ホール	年金制度説明	9名	令和元年11月25日	文化ホール	年金制度説明	5名			
高岡		令和元年8月7日	文化ホール	年金制度説明	9名							
	令和元年11月25日	文化ホール	年金制度説明	5名								
<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高岡</td> <td>令和元年8月7日</td> <td>文化ホール</td> <td>年金制度説明</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>令和元年11月25日</td> <td>文化ホール</td> <td>年金制度説明</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	高岡	令和元年8月7日	文化ホール	年金制度説明	9名	令和元年11月25日	文化ホール	年金制度説明	5名			
高岡		令和元年8月7日	文化ホール	年金制度説明	9名							
	令和元年11月25日	文化ホール	年金制度説明	5名								

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点			
年金委員活動 支援事業	<p>○ 情報誌「年金委員だより」の送付 富山年金事務所より、県内全地域型年金委員あてに5月・8月・11月・2月送付</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="295 386 417 439">事務所</th> <th data-bbox="417 386 691 439">送付日</th> <th data-bbox="691 386 1389 439">掲載記事</th> </tr> </thead> </table>		事務所	送付日	掲載記事
	事務所		送付日	掲載記事	
			令和元年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・年金額改定について ・国民年金保険料について ・国民年金保険料産前産後期間免除制度について ・出張相談所開設案内 	
	富山		令和元年8月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・障害年金受給者の手続きの変更について ・「わたしと年金」エッセイ募集 ・ねんきんネットについて 	
			令和元年11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ねんきん月間について ・ねんきんネットについて ・社会保険(国民年金保険料)控除証明書の発行について ・出張相談所開設案内 	
<p>(2月送付)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="295 986 417 1039">事務所</th> <th data-bbox="417 986 691 1039">送付日</th> <th data-bbox="691 986 1389 1039">掲載記事</th> </tr> </thead> </table>	事務所	送付日	掲載記事		
事務所	送付日	掲載記事			
	令和元年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年分公的年金等の源泉徴収票の送付について ・ねんきんネットについて ・「わたしと年金」エッセイ審査結果 ・予約相談について 			

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																							
年金委員活動 支援事業	<p>② 職域型年金委員への情報提供</p> <p>○ 職域型年金委員への研修会</p> <p>各年金事務所では、各社会保険委員会の会員である職域型年金委員の方に対して、年金制度のみならず、外部講師を招いて健康保険や労働保険に関することも含め、幅広く社会保障に関する研修会を実施しています。 (前年度: 13回 683名)</p>	<p>これまで参加者数は、引き続き年金委員の総数減少と、他の団体での同様な説明会の開催時期が重なることや説明内容が市販テキストに記載されていることのみである等の理由から徐々に減少し続けてきていたが、今年度は、令和2年4月施行される働き方改革関連法による同一労働同一賃金制度の説明に重点をおいて実施し、委嘱人数の減少があったものの、参加人数は昨年度の同程度を維持できた。</p> <p>次年度以降においても、年金委員委嘱拡大と年金委員の方々のスキルアップの場として多数の方に出席いただけるよう、市販のテキストにはない充実した資料提供とタイムリーな情報発信に努め実施していく。</p> <p>社会保険委員会連合会および全国健康保険協会と合同での表彰式の実施は、各組織との協力連携と年金委員のモチベーションに非常に有効であるため、次年度も継続開催を実施する。</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="297 508 432 554">事務所</th> <th data-bbox="432 508 1087 554">内容等</th> <th data-bbox="1087 508 1238 554">回数</th> <th data-bbox="1238 508 1389 554">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="297 554 432 701" rowspan="2">富山</td> <td data-bbox="432 554 1087 625">年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会</td> <td data-bbox="1087 554 1238 625">3回</td> <td data-bbox="1238 554 1389 625">303名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 625 1087 701">年金制度他職域型年金委員委嘱等についての説明会</td> <td data-bbox="1087 625 1238 701">1回</td> <td data-bbox="1238 625 1389 701">5名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="297 701 432 768">高岡</td> <td data-bbox="432 701 1087 768">年金制度および健康保険にかかる説明会</td> <td data-bbox="1087 701 1238 768">3回</td> <td data-bbox="1238 701 1389 768">137名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="297 768 432 835">魚津</td> <td data-bbox="432 768 1087 835">年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会</td> <td data-bbox="1087 768 1238 835">3回</td> <td data-bbox="1238 768 1389 835">157名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="297 835 432 911">砺波</td> <td data-bbox="432 835 1087 911">年金制度および健康保険にかかる説明会</td> <td data-bbox="1087 835 1238 911">3回</td> <td data-bbox="1238 835 1389 911">56名</td> </tr> </tbody> </table>		事務所	内容等	回数	参加人数	富山	年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会	3回	303名	年金制度他職域型年金委員委嘱等についての説明会	1回	5名	高岡	年金制度および健康保険にかかる説明会	3回	137名	魚津	年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会	3回	157名	砺波	年金制度および健康保険にかかる説明会	3回	56名
	事務所		内容等	回数	参加人数																				
	富山		年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会	3回	303名																				
			年金制度他職域型年金委員委嘱等についての説明会	1回	5名																				
	高岡		年金制度および健康保険にかかる説明会	3回	137名																				
	魚津		年金制度他健康保険・労働保険にかかる説明会	3回	157名																				
砺波	年金制度および健康保険にかかる説明会	3回	56名																						
<p>● 年金委員大会(1/2)</p> <p>令和元年11月15日(金)「とやま自遊館」において、年金委員大会を開催し、年金事業の推進・発展のためご尽力いただいた年金委員の方々の功績を讃え、厚生労働大臣・日本年金機構理事長・日本年金機構理事、富山県社会保険委員会連合会長表彰を行いました。</p> <p>大会は、富山県社会保険委員会連合会と全国健康保険協会富山支部の共催で行われ、同時に行われた研修会では、公益財団法人 富山県健康づくり財団 富山県健康増進センター所長による「たばこの害と受動喫煙防止対策の必要性」と題して、禁煙の重要性について、記念講演では、NBA八村塁選手の恩師にあられる富山市立奥田中学校バスケットボール部コーチ 坂本穰治氏による「人を育てる・人と関わる」と題して、生徒を通じ親御さんとのかかわり方までを含めた講演をいただきました。</p>																									

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点
<p>年金委員活動 支援事業</p>	<p>● 年金委員大会(2/2) 【年金委員表彰者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣表彰…………… 1名 ・日本年金機構理事長表彰…………… 3名 ・日本年金機構理事表彰…………… 8名 ・富山県社会保険委員会連合会長表彰… 11名 	<p>昨年の表彰式が長すぎるという一般参加者からのご意見を参考に、今年度は表彰ごと代表者のみ賞状授与とし、時間短縮に努めた。</p> <p><参加者> 前年度： 141社 142名 今年度： 146社 148名</p> 

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																																								
<p>年金委員活動 支援事業</p>	<p>④ 年金委員の委嘱拡大 各年金事務所では、定年退職等で職域型年金委員を解嘱となった方に対して、文書や電話で地域型年金委員の委嘱について協力をお願いしております。 また、各種社会保険委員会事業の中でも、この点について協力依頼を行ってきました。</p>	<p>地域型、職域型共に年金委員の数は全国的に減少傾向にあり、当面の方針として、今後3年間における全体の年金委員委嘱目標件数を機構発足当初の職位域型123,000人、地域型6,100人と設定された。</p>																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務所</th> <th>区分</th> <th>勸奨内容</th> <th>対象者</th> <th>回数(のべ)</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">富山</td> <td>新規職域型</td> <td>算定事務講習会での委嘱勸奨</td> <td>202人</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">職域型→地域型</td> <td>文書による委嘱勸奨</td> <td>61人</td> <td>61回</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>電話による委嘱勸奨</td> <td>1人</td> <td>1回</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>高岡</td> <td>職域型→地域型</td> <td>文書による委嘱勸奨</td> <td>11人</td> <td>11回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>魚津</td> <td>職域型→地域型</td> <td>文書による委嘱勸奨</td> <td>16人</td> <td>16回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砺波</td> <td>職域型→地域型</td> <td>文書による委嘱勸奨</td> <td>6人</td> <td>6回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務所	区分	勸奨内容	対象者	回数(のべ)	結果	富山	新規職域型	算定事務講習会での委嘱勸奨	202人	3回		職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	61人	61回			電話による委嘱勸奨	1人	1回	1名	高岡	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	11人	11回		魚津	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	16人	16回		砺波	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	6人	6回		<p>【富山県の今年度目標値および現況】 職域型2,315人のところ1月末2,187人 ▲128人 地域型153人のところ1月末126人 ▲27人</p>
	事務所	区分	勸奨内容	対象者	回数(のべ)	結果																																				
	富山	新規職域型	算定事務講習会での委嘱勸奨	202人	3回																																					
		職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	61人	61回																																					
			電話による委嘱勸奨	1人	1回	1名																																				
	高岡	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	11人	11回																																					
魚津	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	16人	16回																																						
砺波	職域型→地域型	文書による委嘱勸奨	6人	6回																																						
	<p>富山県における12月末現在の年金委員委嘱人数は2,129人、健康保険委員委嘱人数は3,091人と1,000人弱の開きが生じている。 「年金委員であることのメリットがない。」という意見をいただいております。年金委員委嘱拡大を図るためには、明確なメリットを打ち出し、周知する必要があります。</p>																																									

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点												
地域年金推進 員委嘱事業	<p>①教育委員会等への協力要請による地域年金推進員委嘱拡大</p>	<p>富山県高等学校校長会および富山県教育委員会への訪問により、教育委員会教職員課より協力の了承を得ることがはできているが、委嘱には至っていない。現在も候補者へ意向確認いただいている状況。引続き連携を図る。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="295 354 432 405">事務所</th> <th data-bbox="432 354 751 405">団体等</th> <th data-bbox="751 354 1134 405">内容</th> <th data-bbox="1134 354 1360 405">実施回数(のべ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="295 405 432 482">富山</td> <td data-bbox="432 405 751 482">富山県教育委員会</td> <td data-bbox="751 405 1134 482">訪問による紹介依頼</td> <td data-bbox="1134 405 1360 482">1回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="295 482 432 555"></td> <td data-bbox="432 482 751 555">富山県高等学校校長会</td> <td data-bbox="751 482 1134 555">訪問による紹介依頼</td> <td data-bbox="1134 482 1360 555">2回</td> </tr> </tbody> </table>		事務所	団体等	内容	実施回数(のべ)	富山	富山県教育委員会	訪問による紹介依頼	1回		富山県高等学校校長会	訪問による紹介依頼	2回
	事務所		団体等	内容	実施回数(のべ)									
富山	富山県教育委員会	訪問による紹介依頼	1回											
	富山県高等学校校長会	訪問による紹介依頼	2回											
<p>現在も委嘱に至っていないものの、昨年度に引き続き、富山市教育委員会にて、退職後数年経過された非常勤講師の方々へ打診中との回答を得ています。</p>														

3. 令和元年度の取組結果(21/21)

事業名	実施した事項	実施できなかった事項(理由) 課題・次年度に向けた改善点																					
<p>地域年金事業 運営調整会議</p>	<p>● 地域年金事業運営調整会議 令和元年度も、各県において「地域年金事業運営調整会議」を開催し、地域に密着した公的年金制度についての周知方法や納付率向上策などについて意見交換を行います。</p> <p>各県の地域年金事業運営調整会議の日程</p>	<p>・地域年金展開事業の開催日程については昨年度において、7月開催への変更が検討されているとお伝えしたが、構成委員の皆様の参加しやすい時期等を考慮した結果、変更が行われないこととなった。</p>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>開催日時</th> <th>会場名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富山県</td> <td>令和2年2月26日 午後2時～午後4時</td> <td>ポルフォートとやま</td> </tr> <tr> <td>石川県</td> <td>令和2年2月27日 午後2時～午後4時</td> <td>石川県女性センター</td> </tr> <tr> <td>岐阜県</td> <td>令和2年2月19日 午後2時～午後4時</td> <td>長良川国際会議場</td> </tr> <tr> <td>静岡県</td> <td>令和2年2月5日 午後2時～午後4時</td> <td>静岡労政会館</td> </tr> <tr> <td>愛知県</td> <td>令和2年2月25日 午後3時～午後5時</td> <td>全国健康保険協会 愛知支部</td> </tr> <tr> <td>三重県</td> <td>令和2年2月26日 午後2時～午後4時</td> <td>三重県 総合文化センター</td> </tr> </tbody> </table>		県名	開催日時	会場名	富山県	令和2年2月26日 午後2時～午後4時	ポルフォートとやま	石川県	令和2年2月27日 午後2時～午後4時	石川県女性センター	岐阜県	令和2年2月19日 午後2時～午後4時	長良川国際会議場	静岡県	令和2年2月5日 午後2時～午後4時	静岡労政会館	愛知県	令和2年2月25日 午後3時～午後5時	全国健康保険協会 愛知支部	三重県	令和2年2月26日 午後2時～午後4時	三重県 総合文化センター
	県名		開催日時	会場名																			
	富山県		令和2年2月26日 午後2時～午後4時	ポルフォートとやま																			
	石川県		令和2年2月27日 午後2時～午後4時	石川県女性センター																			
	岐阜県		令和2年2月19日 午後2時～午後4時	長良川国際会議場																			
	静岡県		令和2年2月5日 午後2時～午後4時	静岡労政会館																			
	愛知県		令和2年2月25日 午後3時～午後5時	全国健康保険協会 愛知支部																			
三重県	令和2年2月26日 午後2時～午後4時	三重県 総合文化センター																					

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応(1/3)

開催回	事業名	意見・課題事項	対応状況
第6回	地域相談事業	自宅に届いた学生納付特例申請書の案内が放置されるケースも多いと思われるため、大学構内に年金窓口を開設し、手続き等をできるよう取組むことで学生の年金に対する意識が向上するのではないか。	【対応中】 令和元年度においても拡大には至っていない。 事前の周知方法や効果的な開設時期等の検討が必要。
	地域連携事業	企業内での年金制度説明会拡大は、職域型年金委員を中心に声を出していないといけない。PR不足ではないか。	【対応中】 令和元年度においても拡大には至っていない。 講師派遣の体制検討等課題はあるものの、職域型年金委員の各種会合等での協力依頼の他各種広報掲載に努める。
		金融機関や生保が実施しているシニアライフセミナーでは、将来に向けては自助努力も必要と話をされている。シニアライフセミナー開催に併せ年金制度説明会を実施すれば会社としても依頼し易くなるのではないか。	【対応済】 令和元年度においては、委員会連合会と共催で実施しているシニアライフセミナーを、これまでの1会場1回開催から2会場1回開催に拡大し、委員会加入事業所全てを対象に案内、実施した。 次年度以降も継続実施していく。
	年金セミナー事業	看護専門学校では、国民年金の加入・納付の話だけでなく、障害年金手続きについても説明してはどうか。	【対応中】 今年度は、3月に実施する富山県立総合衛生学院にて障害年金手続きについて説明することとしている。
		セミナーの実施により納付率向上を求めるのであれば、親にも伝わるような手法も必要ではないか。 事前に資料を渡して、親の疑問も記入してもらってはどうか。	【対応中】 「今日こんな授業を受けたと、ご両親にもこの資料を見せてお話しください。」のアナウンスは継続しているが、親の疑問の事前収集は現在のところ実施に至っておらず、来年度において学校へのアプローチの際に依頼・協議を行う。

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応(2/3)

開催回	事業名	意見・課題事項	対応状況
第7回	地域連携事業	<p>(山本委員・池田(幸)委員・池田(悦)委員)</p> <p>新入社員向け説明会の拡充について、社会保険労務士会への委託や経営者協会、商工会議所および中小企業同友会との連携も一案ではないか。</p>	<p>【対応中】</p> <p>既に厚生年金加入済の方が対象となるため、学生時代に国民年金保険料の猶予等を受けていた方向けの説明を中心にすることで担当課と検討していたが、繁忙期と準備期間の短さ、対象者と効果を再検討すべきとの意見もあり実施に至らなかった。</p>
		<p>(林委員)</p> <p>納め損とならないように脱退一時金制度等周知は必要である。各大学の留学生受け入れ部署に対し、外国語パンフレットの設置の依頼をすべきではないか。</p>	<p>【対応済】</p> <p>ご意見を受け、本部担当部署にも報告。年度が替わって、まずは既存の外国語パンフレットを集め富山大学へ持参し、ご協力の依頼。その後8月には対応言語数も増えたため、追加での配布・設置を依頼。「トヤマ・ヤポニカ」様へも林委員のご協力により提供をいただいた。</p>
		<p>(林委員)</p> <p>国際交流協会に繋がっている外国人の方は僅かであり、日本語教育センターと言われる日本語を教える学校やボランティアにしか来られない方が非常に多い。富山で言えば「トヤマ・ヤポニカ」さんがボランティア活動の拠点であり、そことの連携を図るべきである。</p>	<p>【対応済】</p> <p>同上</p>
	地域相談事業	<p>(池田(悦)委員)</p> <p>予約相談推進には理解するが、一定程度の割合で予約無しの方の受け入れ体制を維持したうえで、予約率を高めていくべきではないか。</p>	<p>【対応済】</p> <p>現在、ご意見どおり、事前予約のみではなく、当日予約枠や混雑状況によっては、バックヤード職員の応援による臨時ブース設置等で、可能な限り予約無しの方でも早く相談できるように努めつつ、次回来所時の事前予約勧奨も行っている。</p>

4. これまでの会議で出た意見および課題への対応(3/3)

開催回	事業名	意見・課題事項	対応状況
第7回	年金セミナー 事業	<p>(西村委員) 素晴らしい年金制度周知のための年金セミナーを各県で細々と実施するのではなく、全国一斉に同時期に開催するなど、マスコミに取り上げてもらえるような大きな動きを起こすべきではないか。</p>	<p>【対応済】 11月を「年金月間」、11月30日を「年金の日」として、全国一斉に出張年金相談等の各種取り組みが行われ、本部からプレスリリースも行ってはいるが、年金セミナーを一斉に行うとなると、それぞれ学校の都合も異なるため、実現には至っていない。</p>
		<p>(林委員) エッセイは、数年前までは夏休みの宿題とし、応募していたが、受付時期が9月と早まったため、後期の実施としては応募が難しくなってしまった。通年で受付てもらいたい。</p>	<p>【対応中】 ご意見は本部へ報告させていただいてはいるが、実現には至っていない。 引き続き、本調整会議の意見として報告予定。</p>
		<p>(池田委員) 中学校が取り組んでいる「14歳の挑戦」の受け入れ企業に対し、中学生用の社会保険制度パンフレットを配布して「お父さん、お母さんと読んでおいて。」と伝えてもらうだけでも広く周知する切り口になる。是非、中学生等若年層向けパンフレットの作成・配布を検討いただきたい。</p>	<p>【対応中】 同上</p>